

毎月勤労統計調査特別調査の説明

この調査は、常用労働者1～4人規模の事業所における賃金、労働時間、雇用等の実情を明らかにして、毎月実施されている常用労働者5人以上の事業所を対象とする「毎月勤労統計調査全国・地方調査」を補完することを目的として年1回（7月31日現在）実施しているもので、平成21年については、県内約400事業所について調査を行った。

ここに掲載されている数値は、国において集計・公表された数値であり平成19年11月に改訂された日本標準産業分類により作成されている。

概 況

1 賃 金

平成21年7月における調査産業計の一人平均月間きまって支給する現金給与額は前年比10.9%増の211,538円であった。男女別にみると男275,063円、女156,313円であった。

また、平成20年8月1日から平成21年7月31日までの1年間に、賞与など特別に支払われた現金給与額は、前年比35.8%増の188,061円であった。

2 労働時間

平成21年7月における調査産業計の1人平均1日の実労働時間数は7.3時間で、前年に比べ0.1時間の増加となった。男女別にみると男8.0時間、女6.7時間で女の方が1.3時間短かった。

3 出勤日数

平成21年7月における調査産業計の1人平均月間出勤日数は20.7日で、前年に比べ0.2日の増加となった。これを男女別にみると男21.7日、女19.8日で女の方が1.9日少なかった。

4 雇 用

平成21年7月現在における常用労働者は60,729人で、このうち男28,242人、女32,487人であった。

産業別構成でみると、卸売業、小売業が22,431人で全体の36.9%を占めており、次いで建設業が6,927人(11.4%)であった。この2産業で全体の48.3%を占めている。